

真田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

生き生き ふるさと通信

第27号 2012年6月1日発行【真田地域に全戸配布】



「上原三ツ頭獅子」

5月20日(日) 御屋敷公園で「つつじ祭り」が催されました。

430年の歴史を誇る伝統奉納「三ツ頭獅子」(みつがしらじし)をはじめ、たくさんのアトラクションが組み込まれ大いに盛り上がりました。

三ツ頭の静なる舞いからのジャンプ!!

カッコイイですね。



30m以上の列がそれぞれの役割毎に境内へ進んでいきます。
写真は左から「大団扇」「三天王」「太鼓」「笛・唄・笹引」



曲尾グループホーム(傍陽)
中原グループホーム(本原)
真田グループホーム(長)

5月1日に新築移転しました!



安心できる生活をめざして

ここ数年、全国各地の「グループホーム」で火災により多くの方が犠牲になりました。

そもそも「家庭的な雰囲気の中で生活する」という考えのもとに誕生したグループホーム。全国的にみても、温かい雰囲気を出すために木造の施設が多く、居室から直接屋外に避難できない構造も目立っているといわれます。さらに入居者は避難に介助が必要な方がほとんどであるにもかかわらず、厚労省の基準では夜間は入居者9人に対し、職員は1人でよいとされています。

社会福祉法人恵仁福祉協会のグループホーム(認知症対応型共同生活介護)は曲尾・中原・真田グループホームとも民家改修型で、入居されている方は曲尾・中原6名・真田5名と家庭的な日々を過ごしてまいりました。これからの更なる安心できる生活をめざして、消防法の改正(平成24年4月施行)にともなうスプリンクラー設備、建築基準法(防災設備の設置等)による不適正な建物への対策として各グループホームの移転改築工事を進めてきました。

平成24年3月に無事工事は完了し、少しずつ家財道具等を移動して5月1日に引越しを終了し、それぞれ新しいグループホームでの生活が始まりました。

起工式 おごそかに行われました



雪の中の工事 ご苦労様でした

上棟式 盛大にもちまきが行われました



★★ 各グループホームより ★★

萩・
曲尾
グループ
ホーム



場所が変わり宅老所と合体しました



平成10年に曲尾の地域にグループホームを立ち上げ、長い間地域の方、多くの方々に支えられてきました。防災上の理由により萩の地域へお引越することになりました。萩地域は昔から、曲尾とのかかわりも濃い地域と伺い、グループホームの名前も「萩・曲尾グループホーム」とさせていただきます。これからも地域の皆様とのつながりを大切に認知症があっても安心して暮らせる家、グループホームでありたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。 [管理者 五十嵐由美子]

下原グループホーム



場所も名前も
変わりました



下原グループホームは中原自治会にある民家をお借りして、長年過ごさせていただきましたが、この度下原自治会へ移転させていただくことになりました。地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら、安心して幸せに、その人らしく生き生きと過ごせるグループホームでありたいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。 [管理者 田中広一]

真田グループホーム



場所が変わり
ました



日頃は真田グループホームにあたたかいご支援とご理解を頂き心から感謝申し上げます。真田グループホームはこの5月より新築移転にあたり、今までと同じ区ではありますが新たな場所でのスタートになりました。地域の皆様とともにお年寄りが幸せに安心して暮らし続けるようなグループホームをめざして暮らし続けるようなグループホームを目指していきたいと思っております。今後とも変わらずご支援のほどよろしくお願いいたします。 [管理者 若林美香]

菅平グループホーム



菅平グループホームは、菅平高原という大自然の中四季折々の美しい風景を楽しんでいます。お年寄りも穏やかに和気あいあいと生活され、皆さんここ来ると“ホッ”とするとおっしゃってくださいます。 [管理者 尾崎久美子]

地域の方々との関わりがグループホームを育てて参ります。皆様のお立ち寄りの場としていただければ幸いです。お茶を飲みながら地域のことや懐かしい事などお話しにお越しくださいませ。

行ってきました！

〇〇〇 今回は中原・表木いきいきサロンの様子をご案内します 〇〇〇

中原・表木いきいきサロンは年6回企画されており、今回は4月14日(土)に開催されました。また、中原グループホームが近々下原に移転するというので、入居者を招いてサロンでの最後の交流となりました。

参加者は22名で、内男性は3名、スタッフは民生委員さん、福祉推進委員さんなど7名でした。



午後12時に開会し、民生委員さんのお話を聞いた後に、皆で美味しいお弁当を頂き、テーブルに飾られたカーネーションなど色とりどりの花を見ながら、一足早いお花見を楽しみました。その後、表木福祉推進委員さんが音頭をとって皆でカラオケをしました。皆さん大きな声で元気に歌っていらっしゃいました。



した。

カラオケ後、中原グループホームの入居者の方2名とスタッフの方1名が、お別れの挨拶をされました。

「どうぞこれからも健康で、皆さんお元気で。下原グループホームにも遊びに来てください」と入居者の方がお話しされると、会場の皆さんは大きな拍手をされ別れを惜しみました。

参加者の感想

★皆がここに来て、意気揚々と参加していて良いと思います。

★若い頃、学校や婦人会で交流した皆さんと久しぶりに会うことができました。★何年かぶりにこういう機会に参加させてもらって楽しかったです。歌も好きです。良かったです。★皆さん丈夫でここに来られるだけで幸せです。

スタッフの感想

★地域で活躍した皆さんがここに出ることによって、閉じこもりにならないので良いと思います。前は参加したのに、今回は参加されなかった方については、心配になるので近々訪問しようと思います。より魅力のある会にする為に、皆さんに意見をお聞きしたいです。また、何かあった時の情報を集める良い機会にもなっています。(中原福祉推進委員さん) ★下原にグループホームが移るので、最後の交流会に参加しました。良くしてもらって、仲間に入れて頂いて、入居者の方が大きな声で歌を歌われていたので、今回は良い発見になりました。(中原グループホームスタッフさん)

最後に、皆で青い山脈を合唱して閉会となりました。地域の皆さんが集まってお昼を食べたり、お喋りをする機会は、年を重ねるほど少なくなりがちです。こういったいきいきサロンを活発に開催して頂いて、地域の絆を深める機会が沢山増えると良いですね。



「真田で元気で長生きしちゃおう会」のご案内 参加者募集

地域の皆さんが元気がつらつ健康寿命をのばして頂けるよう、
「栄養」「運動」「口腔」に関する5回のシリーズを企画いたしました。
どうぞ、お気軽にご参加ください。

- *内容 **男性料理教室**
初心者でもできる簡単で、長生きできるバランスのとれた栄養たっぷりの料理作り
- *日時 **平成24年6月20日(水)**
午前9時30分～午後1時
- *場所 **真田総合福祉センター 2階 調理室**
- *持ち物 **エフロン**
- *参加費 **300円**
- *締切 **6月13日(水)まで**



申し込み先

真田地域包括支援センター

電話番号 **72-8055** 有線 **2080**

担当 勝保

定員16名以上を超えた場合は次回にご案内します。



真田町の社長さん 第1回

有限会社 a g i o アジオ1級建築事務所
代表取締役 清水裕人さん



144号線脇の水田の広がる丘の上の、喫茶店かと間違ふような素敵な事務所でお話をお聞きしました。

子供の頃からの夢だった建築士・・夜間学校を卒業し、合格率6~7%の難関の1級建築士の国家試験に合格し最初の建築はお花屋さんだったそうです。12年前建築士事務所を興し、仕事をする上でのこだわりは、使う人の気持ちを大切に「使い勝手の良さ」との事でした。



設計してみたい家はどんな家ですかの問いに、「空間を自由に楽しめるコンクリートの家」と答えが返って来ました。a g i oイタリア語で「くつろぐ空間」

お宅に帰ると、6歳(男の子)、3才(女の子)、1才(女の子)のパパ。そんな社長の趣味は、真田町鉄砲隊。所属している9名の仲間たちと、火縄銃を担いで全国からの依頼を受け、先日は大阪城の前で鉄砲隊として活躍されたそうです。



昔ながらの火縄銃、火薬に点火するのが難しいとおっしゃっていました。ポスターのモデルにもなり(ポスター右側)自慢のパパなんだろうと思います。そんなパパの苦手なものは、子供さんにはきつと内緒だと思ひますが「ヘビ」と「しいたけ」。頭の上がらない尊敬する人は、良設計事務所(佐久)の井出先生だそうです。

子供の頃からの夢の実現の為に頑張る、そして「くつろぐ空間」を創り上げる人間としての豊かさを感じさせる、そして人柄がにじみ出るような笑顔の素敵な社長さんでした。

今回は、清水さんのご紹介でオートステージワカバヤシの社長さん訪問です！ヨロシクお願いします。

今月のひとコマ

— 表木神社のお祭 —

本原地区(表木)にある蚕影神社で、4月22日(日)お祭りがありました。この日は併せて、表木神社の老朽化に伴う改修工事の竣工式もおこなわれ、山家神社の神主さんによる神事も執り行われました。

表木神社は健御名方命(タケミナカタノミコト)・前八坂刀売命(マエヤサカトメノミコト)を祀る産土神で、享保期(1716~35)の建築とされて



ています。毎年4月と9月にお祭りには、獅子神楽と献灯が行われ、今年も好天の中、「東西南北払ってしよ」と獅子舞が奉納されました。





真田町の頌徳碑をたずねて
第5回◆桑田甲子松翁頌徳碑（菅平）

文・若林幸正（通信員 NO. 49）

近代菅平の発展を見るとき、桑田甲子松先生が教育につくした功績は正に偉大であります。私は興味を持って、先生の頌徳碑を訪ねてみました。白銀の中に優優しく輝いておりました。
（碑文より）

甲子松先生は源治元年1月23日に生まれる。後に長野県上高井郡中野町桑田家を継ぐ。小学校の成績優良にして教師となる。

- 1 明治26年6月1日は長村小学校教師
- 2 明治31年4月、菅平分教場に転任
（教育内容）
 - 義務教育が6年に延期され、1年から6年生を一室に集めて教授する。
 - 昼間は小学校児童、夜は青年と集めて夜学授業
 - 常に日頃生徒達に、（父母を助けて菅平の開墾を行ない農業に徹せよ）と教えた。
 - 当時悔恨に没頭する区民に、教育の必要と説き就学を進めた。
 - 夜食に困る零落者が来て話すと、気の毒に思って自分の家へ連れ込んで幾日も夜食を与え厄介をした。

＜ひとくちメモ＞	
1.	岐阜県恵那郡苗木町生まれる
2.	頌徳碑所在地 真田町菅平小学校校門西側
3.	建設年 昭和28年（教え子建立）
4.	写真撮影年月日 平成24年 2月
5.	参考文献 長村誌

※先生は教育以外でも、区民の人たちが何かと頼みに行くと、よく人の世話を焼いたので、家人の迷惑は一通りではなかったが、妻子も子供も不平を言わずによく相談者の面倒を見た。

- 3 明治8年3月31日 菅平分教場を退職
- 4 功績表彰
 - 大正2年11月15日 東京都毎夕新聞社開催15年勤続表彰
 - 大正4年4月21日 表彰状

小県郡長村尋常高等小学校尋常科潤訓導
桑田甲子松殿
多年初等教育ニ従ヒ永ク同一ノ学校ニ勤続シ分教場主任トシテ諸般ノ教務ニ功績尠カラズ仍テ大正三年十二月教育基金令等二条ノ趣旨ニ基キ硯箱一個ヲ授与シテ之ヲ表彰ス
大正4年 2月11日
長野県知事 正伍位勲四等 力石雄一



- 5 昭和20年12月4日 没す（82才）（菅平顕正等に葬る）

編集後記 ●今回から新たに始まりました「リレー訪問 真田町の社長さん」ですが、楽しい取材でした。これからはとも楽しみです。[望月祐子]

●5月20日の「つつじ祭り」は本当に盛大でした。聞くところによると来場された方は4千人を超えたとか!!! 太鼓あり、鉄砲隊ありダンスあり、そして伝統の「三ツ頭獅子」奉納。賑やかで、厳かでも楽しいお祭でした。関係者の皆様、大変お疲れ様でした。[田中晋]

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@ued.janis.or.jp
ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2012年8月1日の発行です。